

税金の役割

喜茂別町立喜茂別中学校 一年 藤沢 頼

「増税、増税、増税」最近のニュースでは、「増税」の話題を見かけることがとても多いと思います。今までの僕は、税金の役割を知らず、また税金が上がるのかと、税金には悪い印象しか持てませんでした。消費税や所得税、住民税、自動車税、僕の家は持ち家なので固定資産税も払わなければなりません。親はタバコを吸っていないのでタバコ税は払っていませんが、お酒は飲むので酒税を払っています。僕は温泉が好きなのですが、入湯税という言葉も目にした事があります。何をすることも税金を取られるので、「税金をなくした方が僕たち国民は幸せになれるのではないか」と思っていました。この作文を書くにあたって、税について考えていくと、税金は僕たちの生活になくしてはならない大切なものだと感じることができました。

税金の身近な使い道の例としては、道路修理や、医療費の助成、小中学校の改修など、公共サービスに使われています。もし、税金がなくなってしまうと道路の修理ができなくなり、がたがたで荒れた道になります。病院では今の何倍もの金額を支払うことになり、非常に不便になります。僕の住む町では子育て支援の一つとして、中学生以下の子供の医療費を町が全額負担してくれています。また、となり町の高等学校に通学するためのバスの運賃も町から半額の負担があり、子供二人目以降にあたる僕はバスの運賃が全額負担になるそうです。

税金は、僕たちが学校で使う教材費にも使われています。教科書やタブレット、最近では各教室に導入されたエアコンなども、すべて税金でまかなわれています。このように税金は、僕たちの身近な場面で僕たち国民の為に使われており、税金を払っている以上に僕たちの生活を支えてくれているのだと思います、税金の大切さを深く感じました。

その一方で、「脱税」という言葉を耳にします。自分が払うお金を少しでも少なくしたいと思う気持ちはわからなくありませんが、税金によって僕たちの生活がよくなるのです。そして、税金を納めるのは国民の義務です。自分のためにも、次の世代のためにも脱税せず、税金を払うことが大切だと思います。